

(第1面)

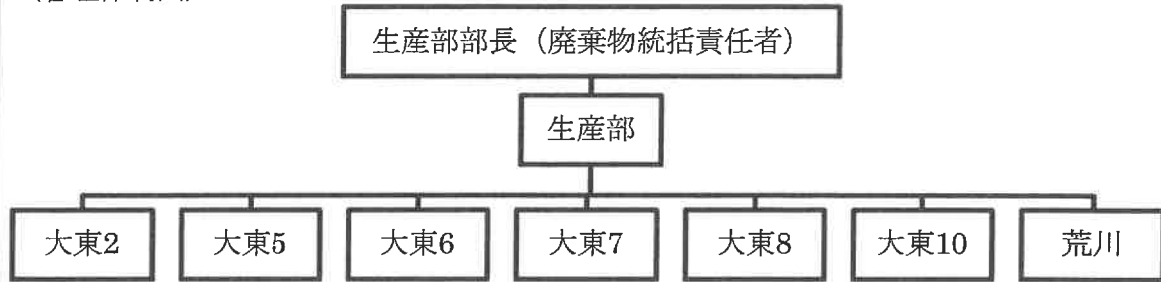
産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 20日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県大船渡市盛町字二本杵5番 氏 名 株式会社 アマタケ 代表取締役 甘竹 秀企 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0192-26-5205	
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社アマタケ 荒川農場
事業場の所在地	岩手県下閉伊郡山田町荒川第6地割22-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	012 畜産農業
②事業の規模	令和5年度 生鳥出荷羽数 497万羽 (アマタケ全農場)
③従業員数	4名 (令和5年4月)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿→農場のボイラー燃料として利用→焼却灰 ◎焼却灰は肥料として販売。



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞	
	排出量	810.0 t	
	（これまでに実施した取組） 飼育管理の徹底による水分量の減少。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	排出量	794.6 t	
	（今後実施する予定の取組） 飼育管理をさらに徹底し、水分量を増やさない。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	89.25 t	
	（これまでに実施した取組） ボイラーの燃料として利用し、燃焼熱は鶏舎の暖房に利用する。焼却灰は肥料として販売している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	87.55 t	
	（今後実施する予定の取組） これまでの取組みを継続する予定。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	720.75 t	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	707.06 t	
②計画	（今後実施する予定の取組） これまでの取組みを継続する予定。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

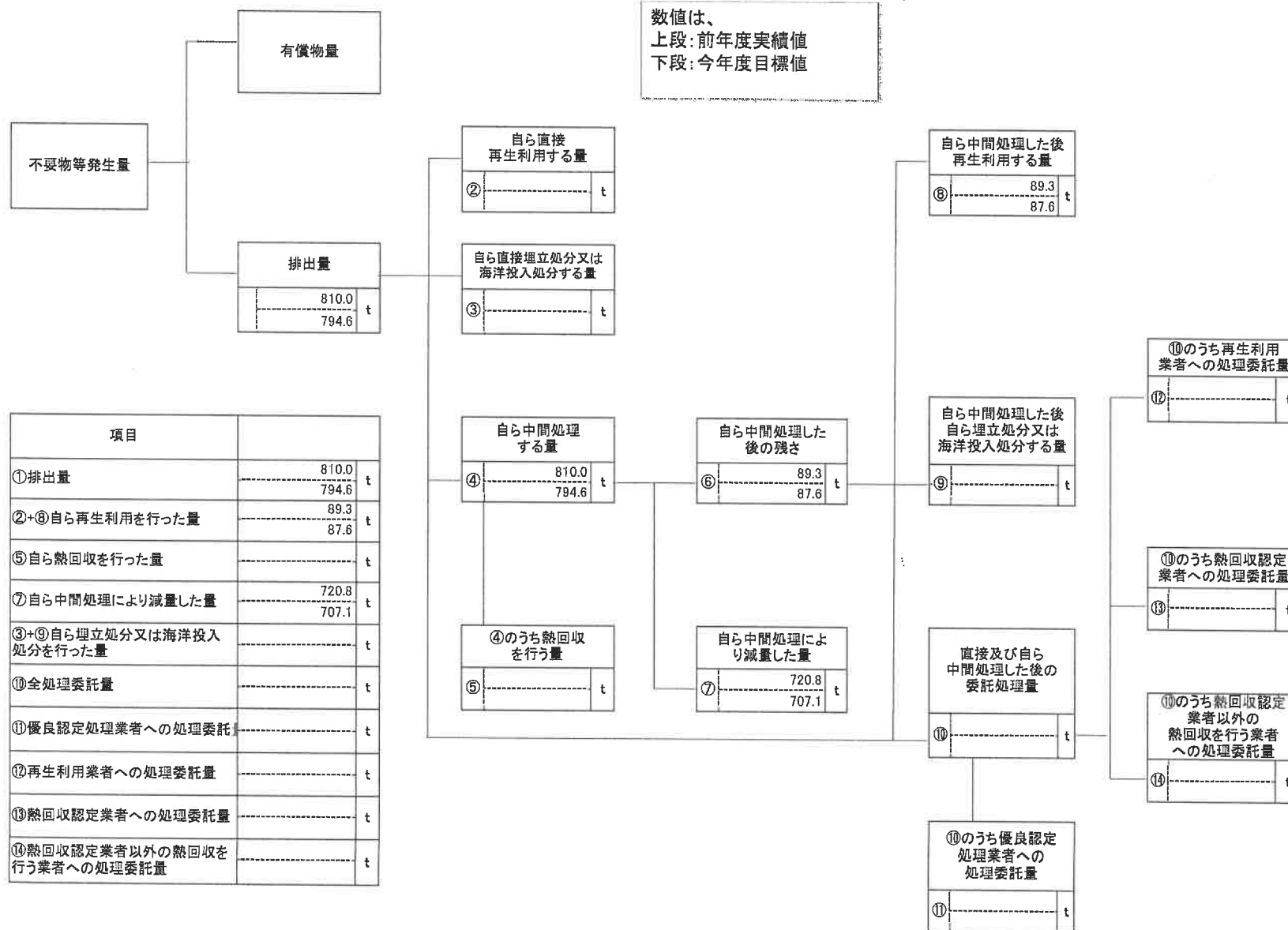
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) —		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
※事務処理欄			

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 動物の糞尿)

)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

